

【議事録】概要

|         |  |        |                 |             |        |   |
|---------|--|--------|-----------------|-------------|--------|---|
| 会議名     | 芦屋町地方創生推進委員会（第2回）                                    | 会場     | 芦屋町役場<br>41 会議室 |             |        |   |
| 日時      | 平成 27 年 10 月 7 日（水） 19:00～21:00                      |        |                 |             |        |   |
| 件名・議題   | 1) 開会<br>2) ワークショップ<br>3) その他                        |        |                 |             |        |   |
| 委員の出欠   | 地域づくり・定住・子育て部会                                       |        |                 | 産業観光・雇用創出部会 |        |   |
|         | 会 長  | 内 田 晃  | 出               | 副会長         | 吉 岡 学  | 出 |
|         |  | 新 郷 綾子 | 出               |             | 宮 崎 大樹 | 欠 |
|         |  | 山 木 善文 | 出               |             | 中 西 智昭 | 出 |
|         |  | 内 海 猛年 | 出               |             | 松 本 健吾 | 出 |
|         |  |        |                 |             | 山 村 朋代 | 出 |
|         |  |        |                 |             | 貝 掛 俊之 | 出 |
| 合意・決定事項 | 産業観光・雇用創出部会については、もう少し議論が必要であるため、次回委員会にて全員で議論することとした。 |        |                 |             |        |   |

# 平成 27 年度 芦屋町地方創生推進委員会（第 2 回）議事録

## 1 ワークショップ

第 1 回審議会に引き続き、「地域づくり・定住・子育て部会」及び「産業観光・雇用創出部会」に別れ、町の将来に係る具体的な施策・事業について、自由な発想で意見交換を行った。

### (1) 地域づくり・定住・子育て部会

- キーワードを「大学連携」として、若い人たちを呼び込むことを横串にして議論した。
- 定住・子育てということで、大きく分けて 5 つの分野で話しを展開した。

#### 【住宅】

- ・ バランス入居(高齢者と若者と)
- ・ 町有地の空地进行住宅用地として売り出し、人口増につなげる。(若い世代)
- ・ 空き家をリノベーションして、学生に住んでもらう
- ・ 空き家をリノベーションして、合宿用の滞在施設に
- ・ 卒業後に起業、就職→定住

#### 【保育】

- ・ 自由ら子どもが集まれる場所。こども館のスペースづくり
- ・ 子どもが大勢集まれる施設(子ども未来館)の整備
- ・ 保育士のノウハウを活かした養成、研修
- ・ 保育士の確保
- ・ 施策に協力した事業者向けの支援
- ・ 保育士の資格者情報を活用して町内で働いてもらう

#### 【教育】

- ・ 子どもの放課後や休日の過ごし方の調査
- ・ 「教育のまち芦屋」の PR
- ・ 中高生向けに子ども会やハンズオンキッズのような活動の場をつくり、清掃活動や講演会、勉強会のようなものを行う。
- ・ 中高生向けのワークショップや研修会、合宿などの交流事業をする
- ・ 教育実習の場
- ・ 芦屋の食材を活かした食育
- ・ 見守り、一緒に遊ぶ(学童保育)
- ・ アルバイトの場を行政も含めて作る
- ・ 幼保・小・中連携
- ・ 子ども観光大使(芦屋自慢 1 人 1 つプロジェクト)

### 【健康】

- ・健康遊具を備える
- ・健康遊具を町の色々な所に設置（歩道等）
- ・栄養系、スポーツ系からのアドバイス
- ・学生と高齢者の協働

### 【交通】

- ・通学バス、通勤バスを運行する
- ・カーシェア、バイクシェア
- ・スクールバスを出してもらう

## (2) 産業観光・雇用創出部会

### ○町内外の魅力発信

- ・いまの芦屋町にとって一番大きなテーマである。
- ・情報を取りまとめる仕組み、連携が必要である。

### ○今あるものの活用

- ・いいものはいっぱいあるが、ひとりひとりがバラバラに動いている。
- ・どうすれば活用できるのかを考えたときに人材育成が必要である。
- ・資源がいっぱいありすぎる。（海・食・景観・歴史）
- ・資源をどう結びつけていくか。

### ○人材の育成

- ・各分野のスペシャリストがいないと発信力が弱い。
- ・子どもの頃から町のいいところを教えていくことで、将来的に芦屋町の魅力を知った人が増えてくる。